



ハラスメント相談室だより

新年度が始まって3か月、新たに大学の一員となったみなさんも生活に慣れてきたころでしょうか。ハラスメント相談室だよりも創刊2年目を迎えました。これからもいろいろな話題を取り上げていきますので、ご期待ください。

特集 セクシュアル・マイノリティ

新年度が始まり数か月が過ぎました。新しい環境の中で、いろんな人たちと出会う機会も多々あったのではないかと思います。そのたくさんの出会いの中に、ひょっとしたらあったかもしれない/これからあるかもしれない、セクシュアル・マイノリティについて触れたいと思います。

私たちは生まれた時にその身体的(生物学的)特徴によって男/女の性別を判断されます。そして、社会で男/女として生きていく中で、異性を恋愛対象(性的指向)とすることや、男性らしさ/女性らしさといった性役割(ジェンダー)を身につけることを期待されます。社会ではそれが普通で、こうあるべきだと考えられがちだからです。

しかし、こういった「社会に期待されている性のあり方」にすべての人が当てはまる訳ではありません。セクシュアル・マイノリティは、上記のような「社会に期待されている性のあり方」には当てはまらない方々の事を意味しています。例えば、自分自身の性別の認識(性自認)と身体的な性別が一致していなかったり、同性が恋愛対象になることもあります。すべての性が男/女に二分化できるものではなく、性のあり方は非常に多様で、また流動的なものであり、個々人によって大きく異なります。マイノリティのカテゴリーとして良く用いられるLGBT(Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender の略称)という言葉聞いたことがある方もおられるかもしれませんが。

マイノリティ、と称されていますが、さまざまな統計や調査から、セクシュアル・マイノリティは少なくとも人口の3~5%程度ではないかと推測されています。これは30人のクラスに1人の割合でセクシュアル・マイノリティの人がいる可能性がある、ということです。

メディアではマイノリティであること自体をアピールしたり、積極的にネタとされる風潮もありますが、多くの当事者は自分がマイノリティであることを隠して生活しています。それは、社会や自身のマイノリティに対する否定的なイメージや生きづらさだけでなく、カミングアウトすることによって周囲から揶揄されたり拒絶されたりする可能性を感じているからです。

ちょっとした一言に傷ついている人がいるかもしれません。自分には関係ない、と思わずに、いろんな人たちが同じ場所で過ごしているかもしれないことを、少し考えてみてはいかがでしょうか。

大阪大学ハラスメント相談室 (秘密厳守)

ハラスメント相談室では、様々な相談を受けています。ちょっといやだな、どうしたらいい?と困った時は相談室にお越しください。

豊中地区 06-6850-5029(セクシュアル・ハラスメント)
06-6850-6006(アカデミック・ハラスメント)

吹田地区 06-6879-7169(ハラスメント全般)

箕面地区 072-730-5112(ハラスメント全般(火曜日)・セクシュアル・ハラスメント(水曜日))

大阪大学HP http://www.osaka-u.ac.jp/ja/for-student/ja/guide/student/prevention_sh



お知らせ

ハラスメント相談員研修を開催します。

6月20日(月)吹田キャンパス・6月24日(金)豊中キャンパス

ハラスメント相談室では、毎年度、全学相談員と部局相談員を対象とした相談員研修を実施しています。

相談員になったものの、どのように相談を受けたいのか、また相談を受けた後どうすればいいのかなど不安に感じている方もいらっしゃると思います。今年度新たに着任された方も、また昨年度の研修を受講された方も、最新の情報等を得ることができますので、ぜひ参加してください。今年度は吹田と豊中の2キャンパスで開催いたします。詳しくは部局人事担当係までお問い合わせください。

研修教材の貸出をしています

ハラスメント相談室では、書籍・DVDの研修教材を貸し出しています。

個人・研究室・事務部など様々な場面で利用できる教材を貸し出しています。DVDは上映時間数分のものもあり、視聴後にディスカッションするなど気軽に取り組めるものもあります。

内容もアカハラ・パワハラ・セクハラと豊富に取り揃えています。

教材の詳しい情報については、大阪大学HP「ハラスメントの防止等」をご覧ください。

貸し出しを希望される方は、総務部ハラスメント対策事務室(soumu-harassment@office.osaka-u.ac.jp)までご連絡ください。



コラム 相談員からちょっとひとこと

ハラスメント相談室では、現在8名の専門相談員が相談をお受けしています。

専門相談員からの「ちょっとひとこと」を毎号コラムでお届けします。今号は吹田地区と箕面地区を担当しているUさんです。



ここ大阪大学には、世界各地から約2,000名の留学生が在籍しています。多様な背景を持つ、豊かな個性の人々が集まって、大学という場で共に時間を過ごしているわけです。未知の世界に触れること、多様性に触れることは、自分をより深く知り、自らの枠を拡げていきかけとなります。ひとつの世界にいるだけでは気づきにくいことに気づくチャンスでもあります。お互いの背景を尊重しながら人間関係が育まれていくとき、違いは豊かさを生み出します。しかし時に人は、自分の持っている背景や価値観を「当たり前」と思い、それがトラブルを生み出す原因となることがあります。2014年より、国際教育交流センター※1、大阪大学留学生会※2、ハラスメント相談室の共催で、年に数回「留学生向けハラスメント対策ワークショップ」を開催しています。そこでは本当に様々な意見が飛び交います。「自分の国では〇〇するのが普通だけれど、日本では違うみたいだ」「あれ？と感じても、文化の違いなのかもしれないと思いきや我慢していた」「日本でのハラスメントの特徴を教えてください」「同じ国、文化の人だからとって、誰もが同じように受け取るとは限らないのでは？」等々。ワークショップを通じて、自分が「当たり前」と思っていることも、社会、文化、宗教、個人など多様な背景によって受け止め方が異なることを実感します。そしてまた、ハラスメントについて話せる環境の大切さを再確認します。不快と感じるがあっても、相手との関係性を考えたり、自分が気にしすぎなのかもしれないと、誰にも言えずに被害が継続してしまうケースもあります。感じたことを安心して言い合える雰囲気、どれほど被害者にとって心強いことか...気にかけてくれる仲間の存在は、被害者を孤立させないだけでなく、ハラスメントの防止に繋がります。大阪大学には前述の組織以外にも様々な相談窓口やサポート体制があります。それらを活用し、大阪大学での日々が、違いが豊かさを生む素敵な時間となることを心から願っています。

※1 CIEE: <http://ciee.osaka-u.ac.jp/>※2 OUISA: <http://ouisa.info/>[https://www.facebook.com/OUISA-Osaka-University-International-](https://www.facebook.com/OUISA-Osaka-University-International-Students-Association-1469346063279129/?fref=ts)[Students-Association-1469346063279129/?fref=ts](https://www.facebook.com/OUISA-Osaka-University-International-Students-Association-1469346063279129/?fref=ts)